

第5回 仙台空港600万人・5万トン実現サポーター会議 講師等略歴

(順不同・敬称略)



仙台国際空港株式会社
代表取締役社長 岩井 卓也 (いわいたくや)

昭和60年 筑波大学 第三学群社会工学類卒業
東京急行電鉄株式会社 入社
平成14年 東急リアル・エステート・インベストメント・マネジメント出向 執行役員資産開発部長
平成20年 開発事業本部 住宅事業部 賃貸住宅部 統括部長
平成22年 都市生活創造本部 渋谷開発事業部 開発部 統括部長
平成26年 経営企画室 事業戦略部 プロジェクトチーム 担当部長
平成27年 経営企画室 PFI プロジェクト推進部 統括部長
仙台国際空港株式会社 代表取締役社長



全日本空輸株式会社
仙台支店長 岸田 洋 (きしだひろし)

昭和60年 同志社大学文学部卒業
全日本空輸株式会社入社
平成10年 レベニューマネジメント部 主席部員
平成17年 東京支店 国際販売課長
平成23年 京都支店長
平成27年 仙台支店長



Peach Aviation株式会社
代表取締役CEO 井上 慎一 (いのうえしんいち)

昭和57年 三菱重工業株式会社入社
平成2年 全日本空輸株式会社入社
平成14年 営業推進本部販売業務室販売企画部主席部員
平成16年 北京支店総務ディレクター
平成20年 アジア戦略室室長
平成22年 LCC共同事業準備室室長
平成23年 A&F Aviation株式会社 代表取締役CEO
(現 Peach Aviation(株))



一般社団法人東北経済連合会
常務理事 小野 晋 (おのすすむ)

昭和55年 東北経済連合会入社
平成16年 社団法人東北経済連合会 地域政策部長
平成20年 北海道・東北未来戦略会議 事務局長
平成22年 社団法人東北経済連合会 理事地域政策部長
平成26年 東北観光推進機構 本部長
平成27年 一般社団法人東北経済連合会 常務理事

パネル討論・ファシリテーター



内閣府大臣補佐官
福田 隆之（ふくだ たかゆき）

株式会社野村総合研究所にて、初の国実施PFI(平成14年)である財務省案件をはじめ、防衛省・大阪府・新潟県・道路公団等へのPFI・民営化アドバイザー業務、経済産業省や金融機関等へのインフラ投資市場調査業務、民間企業のPFI事業参入支援業務等に従事。

平成24年3月からは、新日本有限責任監査法人にて、インフラPPP支援室長として仙台空港案件をはじめとするコンセッション関連アドバイザー業務を統括。

平成28年1月より現職で、公共サービス改革等を担当する。

国交省空港運営のあり方に関する検討会委員や、内閣官房産業競争力会議実行実現点検会合(公的サービス・資産の民間開放)の有識者等も務める。主な著書に「入門インフラファンド」、「改正PFI法解説」(東洋経済新報社)。

来賓あいさつ



国土交通省 航空局 大臣官房審議官（航空（国際））
平垣内 久隆（ひらごうち ひさたか）

昭和60年 東京大学法学部公法学科卒業、運輸省入省

平成12年 鹿児島県警察本部警務部長

平成17年 国際観光振興機構ニューヨーク所長

平成20年 国土交通省大臣官房参事官(鉄道)

平成21年 国土交通省航空局監理部国際航空課長

平成23年 国土交通省航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課長

平成25年 国土交通省大臣官房会計課長

平成26年 国土交通省航空局航空ネットワーク部長

平成27年7月より現職

主催者あいさつ



宮城県知事
村井 嘉浩（むらい よしひろ）

昭和35年大阪府豊中市生まれ。

昭和59年防衛大学校(理工学専攻)卒業後、陸上自衛官に任官。

幹部候補生学校を経て、東北方面航空隊(宮城県霞目駐屯地)に配属。

ヘリコプターパイロットとして各地を飛び回る(飛行時間約1,100時間)。

上空から俯瞰した東北地方の将来性に魅力を感じ、その中心地である宮城県で政治家になることを決意。

一等陸尉で自衛隊を退職し、平成4年松下政経塾に入塾。

松下政経塾の創設者である松下幸之助氏の経営哲学や政治理念を学び、

平成7年宮城県議会議員に出馬し初当選。以来、県議を三期10年勤める。

平成17年に宮城県知事選挙に出馬し当選。(現在三期目)